

## 1 児童養護施設（ベトレヘム学園）の運営

### 【運営方針】

- ・職員満足の上を目指し、職場環境改善に全職員で取り組んでいく。まずは働き方改革のための委員会（プロジェクトチーム）を作る。
- ・誰もが居心地の良い職場とすることを目指し、全職員の意見を集めるため、年2回の施設長面接の他に、職員向けの意見箱を設置する。
- ・勤務シフトを見直し、効率の良い働き方が出来るようにする。
- ・職員ラウンジを充実させるなど、職員の福利厚生を図る。
- ・乳児院との協働ということで、ベトレヘム学園のケース会議に元担当の職員に出席してもらったり、職員や児童と乳児の交流を計画する。

### 【人員体制】

施設長（会計責任者） 鈴木 ますみ

職 種		定 数	平成 29 年度 3 月末見込 常勤換算数（実人員）	平成 30 年度配置計画 常勤換算数（実人員）
国 基 準	施設長	1	1(1)	1(1)
	副施設長	—	家庭支援専門相談員兼務	家庭支援専門相談員兼務
	事務員	1	3.1(4)	3.1(4)
	保育士・児童指導員	23	24.9(28)	26.9(29)
	個別対応職員	1	1(1)	1(1)
	家庭支援専門相談員	1+1(加算)	2(2)	2(2)
	栄養士	1	2(2)	2(2)
	調理員等(無資格指導員含)	4	4(4)	3(3)
	職 種	加 算	平成 29 年度 3 月見込	平成 30 年度配置計画
都 基 準	里親支援専門相談員	1	1(1)	1(1)
	心理療法担当職員	1	1(1)	1(1)
	看護師	1	1(1)	1(1)
	嘱託医	1	1(精神科医と兼務)	1(精神科医と兼務)
	保育士・児童指導員 地域小規模児童養護施設	6	6(6)	6(6)
	保育士・指導員 (専門ケア職員加算)	1	1(1)	1(1)
	治療指導担当職員	1	1.3(2)	1.8(3)
	小児精神科医	0.2	0.4(5)	0.4(5)
自立支援コーディネーター	1	1(1)	1(1)	
合 計	47.2	50.7(60)	53.2(61)	

### 【利用実績等】

	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績	平成 29 年度見込	平成 30 年度目標
定員	56 人	56 人	57 人	57 人
実績等	54.8 人	55 人	55 人	55 人
利用率	97.9%	98.2%	96.5%	96.5%

### 【支援方針】

- ・利用者満足の向上をキーワードに、子どもを中心とした施設作りを目指す。
- ・新園舎が完成したことで住環境は充実したが、より居心地のよい家庭的な空間となるように努める。
- ・子どもの主体性を尊重し、子どもの声に耳を傾け、子どもの希望が叶う場所となることを目指す。
- ・遊び場所の確保として、ホールの利用方法を考えたり、東星学園のグラウンドを借用したグループワークを行う。
- ・子どもたちが将来夢を持てるように、興味を持ったことを体験できる機会を積極的に作っていく。

### 【災害対策】

- ・防災計画に従い、毎月ナザレットの家乳児院と合同で消防計画を作成し、避難訓練、消化訓練、通報訓練、地震訓練を行う。
- ・夜間の避難訓練を、少なくとも年一回実施する。
- ・訓練には出来るだけ消防署の立会いを依頼し、指導を受ける。年 1 回は消防署との合同訓練を実施する。
- ・年 1 回炊き出し訓練を行う。
- ・地域防災ということで、白梅自治会との合同防災訓練を行うとともに、備蓄・備品・避難場所を確保する。
- ・法人清瀬地区の施設、病院との連携を働きかける。
- ・BCP(事業継続計画)を策定していく。
- ・全職員への緊急メール訓練を実施する。
- ・乳児院との合築ということで、感染症予防を子どもたちに呼びかけ徹底するとともに、発症した際は速やかに隔離・乳児院に報告し、感染を最小限に留める。
- ・新園舎の死角や危険な箇所は無いか点検し、子どもたちにとって安心安全な生活の場とする。

### 【地域との連携】

- ・新園舎への引越し後も、白梅自治会の一員としての活動を継続する。納涼祭は開催場所を検討し、なるべくこれまでと同様に行う。行事の共同開催などを行う。
- ・地域交流ホールを積極的に貸し出し、高齢者の余暇活動や子育て支援等に活用してもらう。
- ・ボランティアに関しては、学習や遊び支援以外に、ピアノ等子ども希望することを教えてくれるかたを募集していく。

### 【職員の質の向上】

- ・施設長面接を年2回行い、一人一人の期待するところや課題を伝える。
- ・社会的養護処遇改善実施要綱に基づき、職務に応じた適切な評価をするとともに、手当として明確に報酬を示すことで、職員のモチベーションの向上に繋げ人材の定着を推進する。
- ・外部研修については、処遇改善加算に関わってくるので、個人の履歴を作成し、計画的な受講を行っていく。

### 【施設・設備整備】

(単位：千円)

工 事 件 名	固定資産・備品	
	件 名	金 額
予定無し	冷蔵庫(あまりりすホーム)	150
	冷蔵庫(なでしこホーム)	140
	洗濯機(さくらホーム)	110
	テレビ(ふろじゃくホーム)	150
	テレビ(ゆりホーム)	150
	製氷機	100
	物置	200

注：工事等は1件100万円以上、備品購入等は1件10万円以上を計上

### 【当年度の収支について】

- ・新園舎建て替えに伴い本園定員が45名に下がったことで、事務費保護単価が約2,300万円、全体の児童定員が1名増えたことで事業費保護単価が約400万円増加する見込みである。また、本園のホームが一つ減り地域小規模児童養護施設(グループホーム)になったことで、専門機能強化型施設の補助金が約160万円減少する見込みである(その分保護単価が上がっている)。

- 育児休業中であった職員が 2 名復帰することが決まっています、その分の人件費は増加の見込みである。また、有期契約職員の数を増やすことを予定しているため、その分の人件費も増加の見込みである。
- 児童福祉収入が増加すること、また前年度決算で積立金に回る金額が予想以上に多かったことから、行事費等子どものために使う予算を増額したい。
- 新園舎什器・備品の不足分の出費や、保守点検費等の新たな出費が予想される。